

活動日	活動名称	活動概要
2010/4/18	多摩川博士になろう！ PART45 多摩川で春を味わおう！	多摩川の土手や河原で、この時期に見られる野草を探し、野草の採取のルールや注意、それぞれの野草の名前や特徴を学びながら採取する。採った野草を集めては河原でハーブティーや天ぷらなどにして、それぞれの香りや味わいを楽しむ。講師：榎本 正邦さん(えのきん事務所)
2010/5/16	多摩川博士になろう！ PART46 洪水がつくる地形と河原の植物	府中市域は多摩川のなかでも中流域に位置し、昔から大水が出た時には氾濫(はんらん)を繰り返してできた地域である。現在は堤防などで守られているが、台風など洪水が起きると、川の様相は大きく変わり、その後の河原の風景なども変化することがある。また、そのような洪水の影響などを受けて、河原には他の場所では見られない植物が生育している。郷土の森近くの多摩川を歩きながら、そのような地形や植物について学ぶ。講師：吉田 誠(植物研究家)
2010/6/20	多摩川博士になろう！ PART47 ワンドで育つ生きものたち	郷土の森地先の多摩川にある「ワンド」と呼ばれる川の本流とつながっている湾のような流れのゆるやかな場所をフィールドに、「ワンド」がどういう場所なのか(平常時と洪水時)、どんな生きものが見られるのか、胴長を着用してワンドの中で手網を使って生きものを採取、観察する。胴長着用及び川に入る際の注意事項や手網を使った魚の採り方、採った魚の扱い方や生態等についても体験、学習する。講師：西田 一也(農村工学研究所)
2010/7/18	多摩川博士になろう！ PART48 多摩川 川の安全教室(流れ体験と水中観察)	夏休み、野外や水辺での活動が活発になるシーズンを迎え、川や水辺で遊ぶ時などに気をつけることを学び、また多摩川で実際にライフジャケットを着用し、シュノーケリングや箱めがねを使った水中観察や川流れ(上手に浮いて流される)方法を学習する。講師：山道省三(NPO多摩川センター)
2010/8/22	多摩川博士になろう！ PART49 ハケ(段丘面)と湧水をたずねて～野川の湧水～	多摩川の洪水がつくった地形をフィールド散策とともにまた、かつて多摩川砂利を運んだ鉄道路線や、地域の農業を支えた水路網などもあわせて学習する。多摩川の支川である野川沿い(野川公園)を歩きながら、崖地や丘といった地形とともにハケの緑や湧水、動植物などについての知見も深める。講師：山道 省三(NPO法人多摩川センター)
2010/9/26	多摩川博士になろう！ PART50 多摩川の河原でバッタを探そう	多摩川の河原には、この時期に見られるさまざまなバッタなどの昆虫を探し、堤防の草地や高水敷の石河原の乾燥地域など、河原に特有なそれぞれの環境でどんな昆虫が見られるのか、河原特有の自然環境、昆虫の採取体験とともにバッタを中心とする昆虫の生態についても学ぶ。講師：立川 周二(農学博士・昆虫生態学)
2010/10/17	多摩川博士になろう！ PART51 ためになる「多摩川と洪水」のはなし	台風や最近の豪雨による急な川の増水など、洪水の時には川の様子が大きく変わる。「あばれ川」の異名を持つ多摩川は、どんな川なのか？知っておきたい多摩川や川に関する用語や、河川情報の取得情報、河川を管理したり災害時に対応するための施設等、多摩川の自然環境、社会環境を多方面から学ぶ。また、多摩川のフィールドに出て、多摩川を管理するための施設等や機能等についても現地で観察し学ぶ。講師：国頭 正信(国土交通省京浜河川事務所 河川環境課長)
2010/11/21	多摩川博士になろう！ PART52 河原の植物の冬越しと繁殖戦略	秋の深まりとともに植物はどんな冬支度をしているのか、種や実に秘められた植物の繁殖の仕方や冬越しの様子を、多摩川河川敷などで観察しながら学習する。また、猛暑が続いたこの夏、多摩川の河原の植物にはどんな影響があったのかもフィールド観察とともに学習する。講師：吉田 誠(植物研究家)
2010/12/19	多摩川博士になろう！ PART53 冬のクラフト・お正月のお飾りづくりに挑戦	わらや植物、木の実などの自然素材を使って、オリジナルの正月飾りなどを作る。講師：宮田 温子(多摩川ふれあい教室運営スタッフ)・矢島 郁(府中市郷土の森博物館 ふるさと体験館ボランティア講師)
2011/1/16	多摩川博士になろう！ PART54 多摩川に冬鳥を見に行こう！	府中市郷土の森博物館地先の多摩川中流域や周辺で見られる冬鳥を含めた野鳥について、河川環境と生態を含めフィールド観察とともに学習する 講師：二宮 尚子(財)日本鳥類保護連盟専門委員)・榎本正邦(えのきん事務所)
2011/2/27	多摩川博士になろう！ PART55 多摩川の水環境～多摩川の水がきれいになったってホント？!	・概要：大都市を流れる多摩川の水質や水量などについて、これまでの経過や現在の状況など、写真や調査データ、さまざまな取組みとともに学ぶ。前半は講師により室内での映像を使った解説と質疑、後半はフィールド実習として、施設に隣接する多摩川河川敷で多摩川の水を採取し、水温や透視度、バックテストを使った簡易水質調査などによる体験を行う。 ・講師：国土交通省京浜河川事務所 河川環境課
2010/3/27	多摩川博士になろう！ PART56 稲城の大丸用水と多摩川の地名を訪ねる	・概要：大丸用水は、府中市郷土の森博物館に接した多摩川の堰「大丸用水堰」から取水、右岸の稲城市、川崎市多摩区の農地をかんがいする目的で江戸時代に開削された。「大丸」の地名は丸くて広い土地を意味するもので、「稲城」の地名の由来は諸説ある。府中から、是政、常久、押立、矢(野)口の4箇所に渡りし場があり、交通の要衝でした。多摩川梨や砂利採集で栄えた土地でもあります。 ・講師：山道省三(NPO多摩川センター)